

第2回茅野市特別職報酬等審議会会議結果報告書

【担当課】総務課

会 議 の 名 称	第2回茅野市特別職報酬等審議会		
開 催 日 時	令和8年6月9日（火） 午後7時～午後8時30分		
開 催 場 所	茅野市役所701・702会議室		
出 席 者	【委員】金子会長、阿部委員、吉田委員、高村委員、小林委員、百瀬委員、飯田委員、小山委員、藤森委員 【事務局】森井総務部長、矢島総務課長、平林職員係長		
欠 席 者	【委員】勅使川原委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	1人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
会長	1 開会（会長） 2 会長あいさつ 3 委嘱書の交付 柿澤副市長から、第1回審議会欠席の委員に委嘱書が交付される。 4 自己紹介 委員、事務局の順で自己紹介を行う。 （副市長退席） 5 審議 （1）議員報酬の改定の可否等について （1）議員報酬の改定の可否等について議題といたします。前回、事務局から出された資料に加え、委員の皆さんから求められた追加資料を事務局に用意していただきました。まずは、事務局から追加資料の説明をお願いします。		
事務局（平林係長）	それでは追加資料について資料について一括して説明いたします。 （下記資料に基づき説明） 資料10 県下19市議員報酬改定ガイドラインの有無、報酬の改定・据置理由等の状況 資料10-2 県下19市議長報酬月額等の状況 資料10-3 県下19市副議長報酬月額等の状況 資料11 県下19市市の概要及び特別職報酬等審議会の開催状況 議会作成資料（第1回特別職報酬等審議会の質議回答、議会活性化に向けた市民アンケート調査結果報告書）		

会長	それでは、これまでに出了れた資料等を基に特別職報酬等の改正の可否等について議論を深めたいと思います。 まずは、委員各自の率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。どなたかご意見はございませんか。
委員	令和6年9月の市民アンケート調査結果報告書を受けて、定数を2名減らす方向付けがされたと思いますが、このアンケートでなぜ定数だけが取り上げられたのですか。
事務局（平林係長）	令和6年は、行財政改革が本格化し市の財政が厳しい中、人口も減っているため議員定数も見直すべきという意見が議会内から出たことが背景にあると思います。
委員	市議会議員の定数が多いと感じる市民が多いというアンケート結果が定数削減の決め手になったのでしょうか。
事務局（平林係長）	詳細は承知していませんが、減らす、減らさないという賛否はありましたが、アンケートの結果も受けて定数を削減するという方向に決まったと聞かれています。
会長	それでは、お1人ずつご意見をお願いします。
委員	全体的に賃金が上昇基調であり、茅野市議会の報酬も長年上がっていないため、個人的には引き上げる方向でよいと思います。
委員	上田市議選で若手が多く立候補しており、なぜこんなに立候補者が多いのだろうと感じました。立候補者数と報酬がイコールではないと思いますが、報酬水準が比較的高いことが要因としてあるのではないのでしょうか。議員定数の人口比は分かりませんが、茅野市の議員定数が適正なのか、何をもってこの議員定数になっているのかは興味を持っているところです。数年前、製造業の月給が低いという感想を持ち、給与水準を上げていかないと中々、製造業に人が集まらないと思いました。茅野市は製造業が多く、製造業の給与感覚とマッチしないと、報酬引き上げに対する市民の理解が得られないのではないかともし思いました。
委員	明確な基準がない中で、他市と比べても少し見劣りするため、市議に求めることを定義づけることを前提に増額改定することに賛成します。
委員	製造業の賃上げはここ3年くらい増加傾向にあります。大手と中小の格差はまだ大きいのが現状で、報酬を上げないということではないですが、議員の年間活動日数の最大と最小で差が大きすぎる点が引っかけります。同じ報酬でよいのかは疑問に感じます。

委員	市民アンケートから議会への関心の薄さを感じました。アンケート結果では、議員報酬について、「適正である」、「多いと感じる」という市民が 50% を超える中、報酬の増額は中々思い切ったことだと思いました。ただ、次世代のためには一歩踏み出して報酬を上げるべきだと思いますので、今、一歩踏み出すべきとも思ったりしています。市民の関心の薄さを議会はしっかり受け止めてほしいと思います。
委員	18 年間据え置きであったため増額の方向には賛成します。ただ、今回の増額幅で本当になり手不足解消につながるのか。長野市や松本市レベルまで上げないと生活基盤を支えられないのではないかと思います。これくらい増額したら立候補者が増えたという事例があれば知りたいとも思いました。また、財政力などの評価指標を用いた比較も必要ではないでしょうか。
委員	企業の経理を見ていますが、感覚的に、3、4 年前より、ここ 1、2 年の賃上げはすごいペースだと思います。議員報酬の改定を見ると、飯山市は令和 4、8 年にも改定しており、頻繁に見直しをしているようです。議員の活動量は置いておいて、物価高もあり、改定するタイミングだと思います。ただ、しっかり活動している議員とそうでない議員の差が確かにあると思います。アンケートについても、市民がどこまで知っているのか、何をもって報酬が高いと感じているのか。アンケート結果を鵜呑みにするほどでもないかなと思います。もっと議員さんたちの意見を吸い上げて示してもらった方が説得力はあると思います。
委員	世の中の流れが経済成長率と賃金の両立で日本経済を活性化させようと強まっているので、賃金の引き上げは議員報酬も同様の考え方が必要なのかなと思います。報酬が一切変わらないというこの事実が議員の魅力を下げてしまいます。時勢の流れを汲み取って引き上げるのはとても大事だと思います。一方でアンケートは年代に偏りがありますが、議員の活動と報酬が十分に理解されていない。市民の方に分かっていたくための活動はとても大事だと思うので、そこは工夫していかなれることが必要かと思いました。
会長	いろいろなご意見ありますが、まずは諮問の議会議員の報酬を改正することの可否について、改定して上げるということによろしいでしょうか。
委員	やはり、議員一人一人の活動内容を、議員さんのご努力で開示してもらいたいということを、この審議会では提言という形で出すべきではないでしょうか。議会に何日出席したとか、定量的な部分を当たり前のように公表してもらいたいと思います。
委員	民間でも取締役の信任の 1 番大きなところは、取締役会に何回出ているかというところ。出席率が低いと信任されないというもの。議員の場合、所属している委員会にもよると思いますが、出席対象日数のうち、何日出席したかという形で表示してほしい。そうすると、この議員は全然活動し

	ていないというのが一目瞭然になると思います。しっかりと見える化してから上げることになればいいと思います。
委員	当選回数に応じて報酬は変わらないのでしょうか。一律全員同じ報酬で上がっていきますというのも、あんまり現状にそぐわないのではないかなと。やってもやらなくても同じだということが起きてしまうことは気をつけなくてはいけないと思います。活動の見える化は本当に必要だと感じましたし、上げることは上げたほうがいいと思います。また、有権者の投票意欲に結びつくような情報が見られ、活動量と報酬が連動していればいいと思いました。
委員	今の報酬だけで生活できるかと言ったら相当厳しいものがあるかなと感じますが、議員報酬以外の収入がどれくらいあるのかという資料はありますか。
事務局（平林係長）	議会事務局に問い合わせましたが、公に報告されている資料はありません。
委員	報酬を増額することは、次世代に期待という意味でいいと思いますが、活動の差があると思いますので、議員の活動が市民に届くようにして上げていければいいと思います。
委員	上げること自体には賛成です。市民に対してきちんと説明ができる、納得できる情報を提供した上で上げられればいいと思います。そうすることで議会に対する市民の関心も高まっていくのかなと感じています。
会長	それでは、報酬を増額改正するということでよろしいでしょうか。
全委員	よいです。
会長	改正の額、実施時期はどのようにになりますか。
事務局（平林係長）	額については、現在の額から議長・副議長は+8.7%、議員は+12.9%への改定。実施時期は令和9年4月の次期改選後の議員から適用してほしいということです。過去の人事院勧告の伸び率8.7%を読み込んで準用させたいということです。議員が12.9%になるのは、議長と議員の差額が茅野市は大きいので、平均値まで持っていくことにより、この率になるという説明です。
委員	この考え方に違和感はありません。他市の平均的水準になる意味では問題ないかと思います。改定の時期についても次回の選挙後ということで妥当かと思います。ただ、選挙の時に必ず活動報告の数値を出すとか、定量的なもので他の議員の方と比較できるようなものがあるといいと思います。

委員	人事院勧告の8.7%を議員さんに適用して、議長さんの方を逆に下げて、他市と同じように差を縮めるっていう考え方もできるのかと思いました、どうでしょうか。
事務局（平林係長）	人事院勧告の伸び率は下回らないようにと考えられていると思います。
委員	上げ幅は賛成です。ただ、パフォーマンスによって差があってもいいと思います。パフォーマンスによって差をつけている市は無いようですが、この審議会の委員や市民の声を踏まえると、パフォーマンスを反映させるということを検討したらどうでしょうか。例えば賞与に差をつけというのでもいいと思います。これについては、しっかり議論してもいいのではないのでしょうか。
委員	優劣をつけるのは難しいので、定量的に分かる物を1つの指標にすればいいと思います。平均より大幅に出席率が低いなら賞与で差をつけるのは当たり前の話だと思います。
委員	賞与への反映の話は、コンセンサスが無いと答申で出すのは良くないのではないのでしょうか。諮問内容に額の内容まではないので、付帯意見として答申し、今後考えていってもらえばよいのではないのでしょうか。
委員	ずっと据え置いてきたところで年間数十万円上がったとしても、金額的にはインパクトが少ないと思います。もっと高い報酬を設定することによって議員さんたちの意識も高まっていくという流れの方が理想かと思います。来年の4月から始まる新体制に向けてインパクトある報酬を前面に打ち出していく。個人的にはもっと増やしていいと思います。
委員	何の指標に基づき賞与について決めていくか、この審議会委員だけで決めて提言していくことについては個人的に少し不安を覚えています。今回の報酬の引上げ額と時期についてはいいと思っています。付帯意見を付けるとすれば、活動量と期末手当のリンク性について、今後、議会でしっかり議論していったほしいという程度の付帯意見でいいと思います。
委員	そもそも議会活動には出ることが当たり前だと思います。評価するというのは少し情けない気すらしています。
委員	所属する委員会によって活動回数に差が出てくるのでしょうか。
事務局（平林係長）	委員会によって活動回数に差が出てくると思います。
委員	だからこそ活動回数を分母分子で表示していくべきだと思います。もっと市民目線でやらないと良くなっていかないと思います。次期選挙では議会ホームページ等で公表してもいいと思います。

委員	皆さんの意見に納得しています。お金が出るから議員に手を挙げようという人には議員になってほしくないですし、志のある人が議員になってくれたらありがたいと思っています。報酬改定は今の時期にやるべきだと感じていますし、次期からの報酬額が決まっていることは大事だと思います。
委員	報酬改定のガイドラインは他市にもないということですが、茅野市の議員の報酬の水準はどこを目指すのかというものはあるべきだと考えています。同規模の市と比べた時にもベターな水準へ持っていきましょうといった付帯意見はあってもいいかと思いました。
会長	額は8.7%かそれ以上かという話が出ましたが、額はもう少し詰めたほうがいいでしょうか。
委員	額はこれでいいと思います。大きな額の改正ではないですが、税金から報酬が払われるということを意識していただき、市民にしっかり伝わる活動をしてほしいという意見は伝えたいとは思っています。
委員	人事院勧告の8.7%というのは説得力があるし、市民も納得できそうな金額かなと思います。ただ、議長と議員の差を縮めるために議員を12.9%アップとするのが、本当に合理的な数値なのかは少し引かかる部分もあります。
会長	議長と議員とのバランスの件についてはいかがでしょうか。
委員	全員一律8.7%がベースにある中で、議員と議長の差が開きすぎているから、平均値でその差を縮めるとして、結果的に議員が上がると思うので、この案でいいかと思いました。
委員	このパーセンテージでいいと思います。頑張ればもっと報酬がもらえると思うってくれる議員さんが増えれば、市も活性化していくと思います。ただ、議長と副議長が負っている責務がどれくらいあるか分からない中、議長、副議長と議員の間には格差があって当たり前なのに議員の報酬を議長、副議長に近づけるというのは筋が通ってない気もしますが。
委員	議長、副議長、議員の責務の差はあるのでしょうか。
事務局（森井部長）	二代表制の議会という大きな権限を持っているところの最高責任者が議長、議長を補佐するのが副議長であり、議長不在の際は議長の責務を負うこととなります。大きなかじ取りをし、決断をする立場というのは一般の議員とは異なる大きな責務を負ってらっしゃることになります。
委員	議長、副議長はどのように決まっているのですか。
事務局（森井部長）	議会の中の選挙で決まっています。

委員	議長は経験が長い方だと思う。それなりの報酬を出すべきだと思う。
委員	議長になる人は何期も議員をやられている方だと思うので、経験も成熟して能力も高まっている方だと思います。それなりの報酬は出すべきという気持ちがあります。
会長	改正の額は議長・副議長 8.7%増、議員 12.9%増、改正の実施時期は令和9年4月の改選後からということでよろしいでしょうか
全委員	よいです。
委員	今日決まった内容について、付帯意見の部分が不確定なので、もう少しまとめた方がいいかと思います。できれば事務局から答申案を示してほしいです。それについて議論をして方向性を出した方がより良い答申ができるのではと思います。
委員	同意見です。多くの意見を羅列してしまった時に矛盾する意見になってしまうと分らなくなると思います。素案を出していただく中で議論を進めることは必要かと思うので賛成です。
事務局（平林係長）	それでは、次回の審議会に間に合うよう事務局で答申に載せる内容の案を作成いたします。
会長	その他、何かご質問などありますでしょうか。 なければ、これで第2回目の審議会の方を閉じさせていただきたいと思います。ありがとうございました。